

フブ・服部の中国通信

あれ？ストーンフェアってこんなでしたっけ？

先日、毎年恒例のアモイストーンフェアが執り行われました。

「アモイの展示会行っても見るもの無いよ」という事が言われて久しいです。

実際に墓石に関係する展示が年々減少し、最近ではほとんどが建材絡みの展示になっていると言われます。

かくいう私も「見るものがない」派でしたが、今回参観した仕入先のH女史から送られてきた写真を見て唖然としました。



服：なんじゃこりゃ・・・？私の知っているストーンフェアと違う・・・

H：面白いでしょ？一日遊べたわ(笑)

服：長いこと行かないうちにまたえらく華やかになったものですね・・・と、

言うかこんな写真ばかり撮って・・・何やってるんですか(笑)

H：お墓関連の展示、やっぱりほとんど無かったのでつい遊びの感覚になって・・・
先日上海のモーターショーでコンパニオンさんの過度な露出に当局から横槍が入ったとニュースになっていましたが、このサンバの衣装などはいいのでしょうか・・・
私是一向にかまいませんが！（笑）

・・・脱線してしまいました。綺麗なお姉さんに興味がないとは言いませんが、
もちろんメインは石です。（本当ですよ）

石材加工関連でもなかなか面白い技術の展示があったようです。

以下仕入先L社長の証言です。

L：今年はなかなか面白いのがあったよ、ほれ。

服：えーっと・・・私の中国語がおかしくなったのでなければ

「654#山西黒風染め」みたいな感じに見えるんですが・・・

L：そういう感じだね、真っ黒ですわ（笑）

服：これ、油塗り通り越して色塗りじゃないですか・・・



L : (おもむろにもう一枚の写真を送付)



服 : あ、近づいたら石目がありますね。本当に真っ黒になっているのかと
思いました。汗・・・

L : いやこれ違うよ、「ラステン風染め」だね、君の言い方で言うなら。

「山西黒染め」の方は本当に真っ黒。

服 : これならまだ分かりますが・・・いや、そこまでやるならもはや素材何でも
良いんじゃ・・・

L : そうだね(笑)日本の仕事にはまったく使えないけどなかなか面白かったよ。

でも疲れた！なにせ駐車場が会場から2~3キロ離れたところにあって、歩く
だけでひと仕事・・・

服 : それ、タクシーで行くべきですね。

L : 私の友達には会場に前着けして罰金 100 元を駐車場代だと思って支払った、
というツワモ/もいるよ(笑)

服 : ・・・

余談はさておき、恐ろしい時代になったものです。ほかにもG603をG682風
に染め上げるような技術もあるそうです。

もちろん日本市場にて無断でこんなものを使った日には大問題。大変なクレームになるので中国国内市場もしくは同等以上にゆるい市場向けと言うことになるでしょう。ただ、このような技術を悪用させないためにも、質感がどうか、実際にはどのような石目になるのか、など少し見ておきたかったです。

宜しければご案内させていただきますので、来年行きませんか？ もちろんタクシーもしくは会場前着けでご案内します！（笑）多分私が一人で行きたいと言っても仕事に繋がらないからと予算が降りないので便乗させていただければ。

ストーンコーク、その後の活動報告



先日、と言っても結構前になってしまいましたが、石材用接着剤「ストーンコークR」が中国で品薄になっている件をお話しました。

そして持ち込もうとしたら没収されたことも・・・泣

その後、学びました。と、言うか本当に品薄が洒落にならないことになってきたので色々と手を打っております。

理想は正式に通関処理をして輸出することですが、まだ少々準備不足。今回は取り急ぎ、安全証明の書類を添付、飛行機内に預けて中国に持ち込むというプランを実行に移しました。

私が自分で持ち込めば良かったのですが、前回行~~く~~時忘れていた事情があり持ち込むことが出来なかったため、やむを得ず上司のM氏に持ち込みをお願いしました。もちろん仕事ですので快く引き受けてくれましたが、結構重いのにすみませんでした・・・

必要と思われる書類を入手していたので八割がたの自信はありました。

しかしやはり初めての試み、何度かトライアンドエラーも必要かも、という思いもあり少々ドキドキもしていました。

が、数日後問題なく持ち込み完了との報告があり心の中でガッツポーズ。

なんとか急場をしのぐ程度の数は揃えられそうです。(今後貿易部出張時の荷物が結構大変なことになりそうですが…)

個人が持ち込める量など知れているので品簿解消には程遠いですが、ゆくゆくは正式通関して輸出という安全かつ量が動かせる道も確立したいものです。

合わせて仮止め用のクイックメンダーも少々入手が難しくなっているようなので、そちらにも手を回していきたいと思っています。ご期待下さい！

それでは今月もこのあたりで。また来月お会いしましょう。再見！

2016年4月1日 服部